

(平成29年度分)

団体名	117KOBEぼうさいマスター育成会議		
			
			

阪神・淡路大震災の教訓と記憶の継承のため、また普段から災害への備えの啓発を目的として、震災を経験していないあい20歳前後の大学生たちが主体となって様々な活動を行っています。

主な活動としては、

- ① 市民救命士講習を修了し、ぼうさいWEB検定に合格した人を「117KOBE ぼうさいマスター」に認定。
- ② 「カミングコウベ」「避難訓練コンサート」などのイベント会場や、商業施設などでブースを出展し、AEDを使った心肺蘇生術の指導や新聞スリッパなど身近なものを使った防災グッズを作る「ぼうさいワークショップ」などを開催。

それらの活動を通じて、ぼうさいマスターが約1,000人誕生し、ぼうさいワークショップでも子どもたちを中心に、大勢の人たちに自助・共助の防災啓発を行うことができました。

<様式 3 - 3 >

